

2019.10月

銀の汗 Again

その後の闘い

A面



2017.3月 九州メンバーUN研修IN東京



2017.5月完成した6号機にて九州初施工
倉富OP

2017年12月 ニュースレター銀の汗は「普通のオトコの子になりたいと」60号を契機に一旦筆を置き約2年が経ちました。

この2年間の「銀の汗」の歩みはイケイケで特に九州に設置のUNマシン6号機が大爆発！
化研グループ会社 エヌケイマテリアル(株)福岡の倉富OPは2年弱でなんと80トンを超えるUN施工を行いました～……よかどです。

また、UNを切り口に、他の商材の売り込みも進み、まさに全九州UN一石二鳥三鳥の波状攻撃を仕掛けています。よかよか

ばってん東京のOPも負けてられません！

2019年4月～6月、愛しいネズミがマスコットキャラクターの「夢の国」40,000㎡駐車場をUN3台フル・ヘロヘロ稼働で施工、通常工法なら納期8ヶ月必要な所2.5ヶ月でUNパワー炸裂しなんと前年比160%超えの総トン数を撒くことが出来たでチュ～。

「夢の国は、施工する所じゃない彼女と行く、ところだ～ッ！」

の魂の叫びを上げ続けた淋しいOP達は施工後抜け殻の様になりました。今も抜け殻です……

気がつけばOP達も抜け毛・老眼・歯槽膿漏などイタミが出てきていますが15年目を迎えたUNマシン2号機もヘタリが出始め吐出量も8Lが限界となり、シーケンサ不良等経年劣化限界に達し次世代UNマシン7号機へと2号⇒7号機へバージョンアップする事になりました。

2018年12月から、油圧ユニットを無くし強力なバイデルポンプを利用し、丸秘コンピューターシステムを採用した7号機の本格製作に入り2019年7月ついに完成。

車高も211cmと、1番低いマシンとなりマンション入り口、H2200以下でも対応可且つ、油圧ユニットが無い分、ポンプは吸うだけの、静音タイプとなっています。



左:3号機 右:7号機

8月は、雨雲多く、施工前からあと5時間で雨雲が来るので2時間で施工終えたいなどの現場の声にスピーディに対応し、短時間施工に年々磨きをかけています。また、ゴミも殆どがゴミ袋2つで施工を終え、環境に優しくリサイクル・リユース・リデュースの3R 廃材減少に努め小泉環境新大臣もきっと驚かれる事と思います。

そんな施工店様に「おもてなし」を行うUNマシンレンタルシステムまだまだ、全国において是非とも御利用頂きたい施工店様がたくさんいらっしゃいます。
全国に向けて再び 銀の汗Again スタート致します。



2019.2月 UNマシン7号機製作開始



2019.7月次世代UN7号機完成



2019.8月UN7号機初施工



2019.9月 7号機順調施工済

2019.10月

銀の汗 Again

B面

防塵舞う現場



赤坂・高山・坂本
産廃てんぷくトリオ



ストックヤードに産廃ゴミ



手選別コンベアでの作業

「ハイ、それではこれを着て下さい」と ヘルメット・マスク・手袋・白衣・長靴を一式用意頂き、産廃中間処分場の見学会がスタート。

体感50度以上、砂埃はモウモウ、2階の手選別コンベアでは人の手で、仕分け作業が休む間も無く行われています。私なら絶対1日で、いや半日でケツを割る仕事。

「辞める人多くありませんか？」と伺うと、「すぐ辞めるか、長いかの2パターンです、冬に入社し段々体を慣らして夏を超えるのが安定パターンです」との事、夏入社は直ぐ辞めると・・・見学会は9月猛暑でした。

リサイクル・リユース・リデュース この言葉にすると、クーラーの効いた部屋でパソコンいじっているように感じますが産廃 収集運搬 手積み 防塵 汗 もひとつ汗 やっぱり汗 コンチクショー汗 これが現場です。

現場で、廃棄物発生し、我々が行う収集運搬があり、中間処分そして、2次収集運搬を得て、最終処分へ、その処理が適正に行われる為にマニフェストがあり、昨今、廃棄物処理法の罰則規定は強化され厳しくなっています。

化研産廃チーム・4トン車1台:2トン車2台 3名の男達が今日も、収集運搬に走り

いつもと変わらずに銀の汗を流します。

特販手配空調服



5Lがフィット 豊田ドライバー(メンズノンノン所属)

猛暑 大ヒットの空調服を推進部特販チームが手配し産廃チームへサイズは2L・3L・5Lと親方衆がそろっています。(さすがです)

毎日 ゴミの上げ下げの稽古を繰り返し、廃液ドラムは摺足で運び「現場(土俵)に金が落ちている」と、金属ゴミも回収致します。

最後に

「夢の国は、産廃(UNドラム回収)で行く所じゃない
おかみさんと行く所だ!!!」

UNマシン.COMサイトが起ちあがりました

www.un-machine.com

yahoo検索ワード第1位(ウレタン・省力化など)

ブログ銀の汗にUNの活動状況一部掲載しています 銀の汗バックナンバーも掲載

UNマシン にて検索

【sweat of silver】

世界柔道2019武道館で、日本代表を応援した、武道館は人種のるつぼ、必死になった応援団から「hサオ★digi▲オ52'&×32dkcn～」訳解らない叫び声が響きわたる、応援席も体から圧を出す人間が多く、不思議なものでその叫び声を聞くところにも負けられない日本男児として圧に負けない様、闘う言葉を、おもいきり叫びたくなった。「オラオラ～、いったれ～マタ●キ～ッ!!!」

その叫びが響いたのか、約10m右隣の100キロ超えオズマのような男が、血走った目で「h★▲×mそps～」

その時、「1本～」見事な日本選手の技が決まると万雷の拍手、道着を整え凜々しい顔で礼をする日本選手、畳を下りるまではまさに道を極めんとする武士の様相、見事でございます、日本の誇りでございます。

ふとオズマを見ると、なんとパッキン美女と、にこやかに談笑・・・なんなんださっきまでの血走りはしかも、かなりイケテル美女、なぜ肩に手をまわしているんだオズマ・・・フィット5Lで、ぶちかましか・・・?

その後、残念ながら、日本代表は決勝戦で敗れ、銀メダルとなった。3位決定戦で勝ってもらえるのが銅メダル負けて頂くのが銀メダル、銀メダルには、次こそ金メダルへの深い深い決意が宿る、口惜しくて、今に見ていると努力し、流す汗が、「銀の汗」

我々、銀の汗部隊も、口惜しい思いは胸に秘め、今後も、遠く、輝く、金メダルを目指し闘って参ります。

最後に、銀の汗Againを、お待ち頂いた、ファンの皆様方へ感謝を込めて一言

「武道館は野郎と行く所じゃねえ～、ナオンと行く所だ-----」

